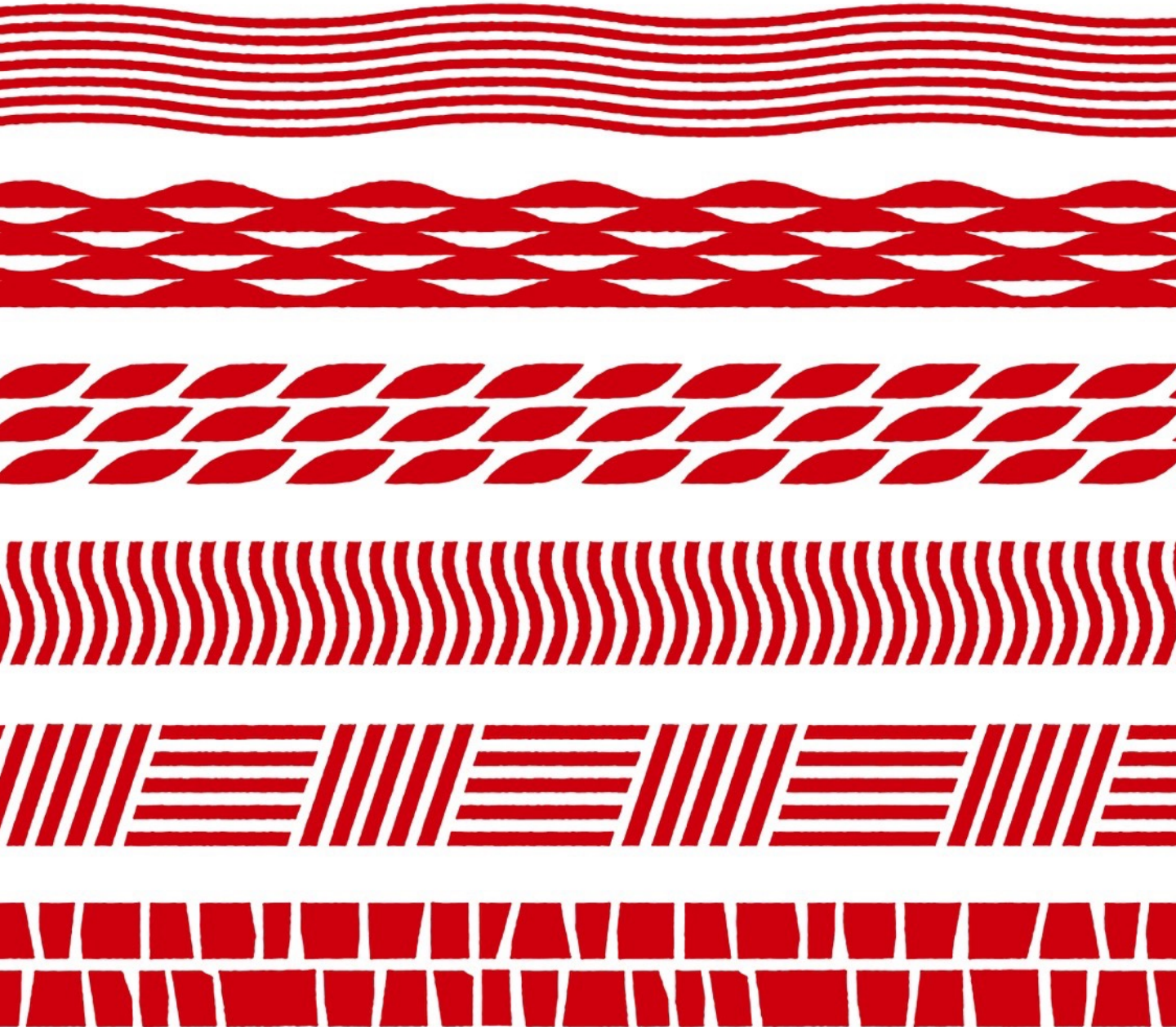


観る寄る巡る。

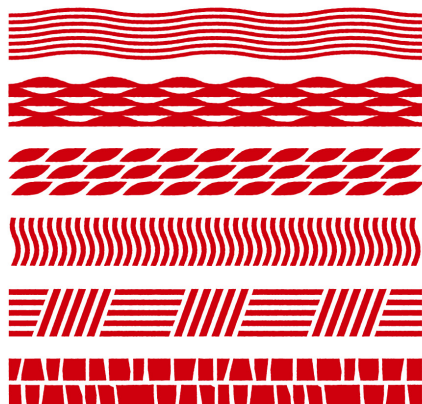


豊岡演劇祭2024

Toyooka Theater Festival

9/6金-23月祝

マームとジプシー スリービルバーグス Platz市民演劇プロジェクト KIACレジデンス・セレクション2023→24:
コンカーン・ルーンサワー 岩下徹×梅津和時 たじま児童劇団 青年団 読売テレビプロデュース 堀川炎
んまつー波斯×Unlock Dancing Plaza ダンスカンパニーMi-Mi-Bi 烏丸ストロークロック×但東の人々
to R mansion 小菅紘史×中川裕貴 うさぎストライプ JR西日本観光列車「うみやまむすび」×芸術文化観光専門職大学



Toyooka
Theater
Festival

豊岡 演劇祭 2024

9/6^金-23^{月祝}

「豊岡演劇祭2024」ラインナップ発表のご案内

豊岡演劇祭実行委員会は、2024年9月6日(金)から9月23日(月・祝)にかけて、兵庫県豊岡市、養父市を中心に11エリアで開催する豊岡演劇祭2024のプログラム詳細を発表いたします。

<https://toyooka-theaterfestival.jp/>

■ 本事業に関するお問い合わせ

豊岡演劇祭実行委員会事務局（豊岡市役所観光文化部観光政策課）：宮垣・蒲

TEL：0796-21-9016 FAX：0796-22-3872 Mail：kanbun@city.toyooka.lg.jp

ご挨拶

豊岡演劇祭は豊岡市、養父市、香美町の9つのエリアで開催してきましたが、今年から新たに朝来市、宝塚市が加わります。開催エリアには温泉があり、高原があり、海があります。それぞれ多様な歴史、文化、そして食があります。これまで豊岡演劇祭では玄武洞公園や香住東港での即興のダンスと音楽によるパフォーマンス、城崎温泉街などでのストリートパフォーマンス、但東町での古くから残る農村歌舞伎舞台で子供たちによる農村神楽、スキー場での演劇、観光列車に乗車してのホームや車内での観劇など、ここでしか体験することのできない演目を数多く開催してきました。さらに今年から朝来市や宝塚市という魅力あふれる地域が加わり、今まで以上にバラエティに富んだ演劇祭となるだろうとワクワクしています。

今年の豊岡演劇祭のテーマは、“観る寄る巡る。”です。

観劇後は、お店に立ち寄って自慢の食をお楽しみください。ミーティングスポットやナイトマーケットもありますので、お客様同士、演者の方や地域の方と語り合ってください。そして是非2つ以上のエリアを巡ってください。作品数も多く、魅力あるものばかりですので、限られた時間の中でどの作品とどの地域を組み合わせるか、その計画を立てるのも楽しいかもしれません。

最後になりましたが、開催にあたりご協力、お力添え頂いたすべてのみなさまに心よりお礼申し上げます。みなさまとお会いできることを楽しみにしております。

豊岡演劇祭実行委員会 会長（豊岡ツーリズム協議会） 高宮浩之

2020年、コロナ禍のなかで産声を上げた小さな演劇祭が、いま、静かに着実に日本を代表する演劇祭へと成長し始めています。

国内外の多くのアーティストが一度は参加したいと願う演劇祭。

参加しない年も「今年は何日間行けるかな、誰に会えるかな」と手帳を開く演劇祭。

観客のみなさんも同様に、春先から「今年はどうな演目が揃うんだろう」と気にかける演劇祭。

そして演目の発表が続く中で、「じゃあ、今年はこちら辺で3泊しようか」と観劇仲間と話ができる演劇祭。

何より観客とアーティストが出会い、旅館やカフェ、温泉やおそば屋さんで言葉を交わせる演劇祭。

観る寄る巡る。

私たちは、まだ世界のどこにもない、新しい形の演劇祭の形をみなさんにお届けしたいと思います。

フェスティバルディレクター 平田オリザ

2024のコンセプト

観る寄る巡る。

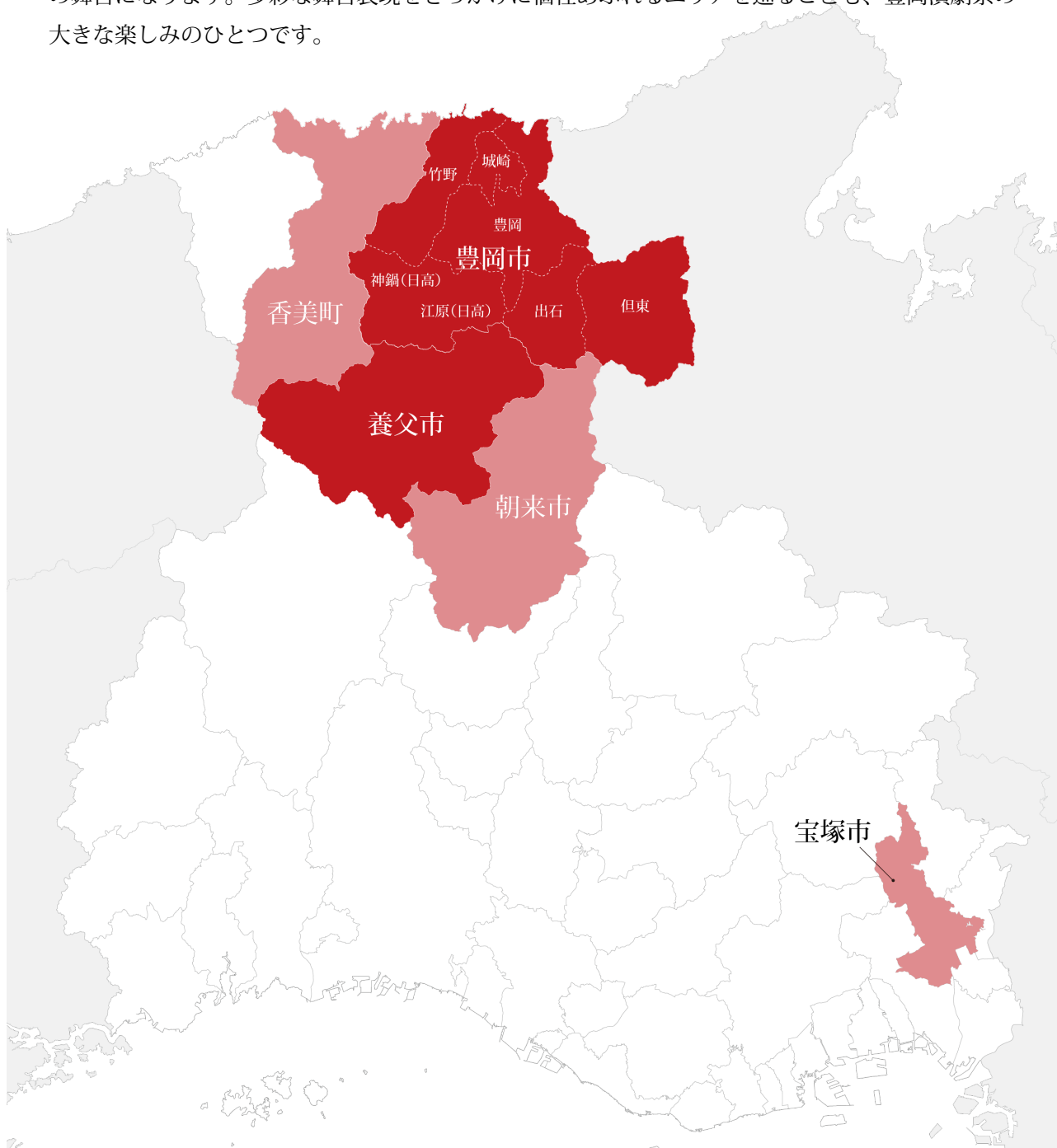
豊岡演劇祭は、劇場だけではなく温泉街、海岸、高原、神社の境内に設けられた木造の農村舞台など、まちのいたるところが舞台になるのが大きな特徴です。山陰海岸ジオパークとも重なる土地の魅力を存分に引き出すとともに、全国の舞台芸術ファンの期待に応えるプログラムに、国際共同企画、若手カンパニーやストリートパフォーマンスなども合わせると国内外から約70の団体がこの地に集まることになります。たくさんの観劇の機会が生まれるのはもちろん、ふと気になる場所に立ち寄ったり、表情の異なるエリアをゆっくりと巡ってみたりするうちに、各地のおいしいご飯、名湯、雄大な景観にも出会うことになるでしょう。

5年目を迎える今年のテーマは、“観る寄る巡る。”。

毎年恒例となったフェスティバルナイトマーケットなど、演劇祭に合わせて開催する様々なイベントとともにみなさまをお待ちしています。

開催エリア

昭和初期のモダン建築が数多く残る豊岡の市街地、温泉街として知られる城崎、日本の渚100選にも選ばれた竹野、自然豊かなリゾート地の神鍋といった豊岡市と養父市の8つのコアエリアに加えて、但馬地域を構成する香美町と朝来市に、兵庫県南部の宝塚市もサテライトエリアとして演劇祭の舞台になります。多彩な舞台表現をきっかけに個性あふれるエリアを巡ることも、豊岡演劇祭の大きな楽しみのひとつです。



プログラムの特徴

■ 公式プログラム

- ディレクターズプログラム

フェスティバルディレクターがセレクトした公式プログラム。

- フェスティバルプロデュース

演劇祭がプロデュースするプログラム。地域、食、交通などとアートを掛け合わせ、舞台芸術の可能性をより拡張していきます。

■ フリンジプログラム

- セレクション

100件を超える応募から選ばれたプログラム。多彩な会場でバリエーションに富んだ演目が見られます。

- ショーケース

芸術文化観光専門職大学 小劇場・そぞろ座にて、クールごとに3団体が短編を連続上演するプログラムです。【第1クール】9/15(日)・9/16(月・祝) / 【第2クール】9/20(金)・9/21(土)の2クールに分けて開催します。

- ストリート

大道芸や音楽などジャンルを問わず、劇場を飛び出しまちを彩ります。

■ 関連プログラム

公式プログラムに関連するプログラム。トーク企画やワークショップなどを予定しています。

■ 寄りんせえプログラム

会期中、地域で活動する団体のイベントやショップ情報をご紹介します。

公式プログラム ラインナップ

プログラムタイプ	演目	上演日程	会場
ディレクターズプログラム	マームとジプシー 『Chair/IL POSTO』	9/13(金)19:00 9/14(土)19:00 9/15(日)11:00	芸術文化観光専門職大学 静思堂シアター
ディレクターズプログラム	スリービルバーグス第2回野外公演 in スタジアム! 『リバーサイド名球会』	9/20(金)18:00、20:00 9/21(土)18:00、20:00 9/22(日)18:00、20:00	こうのとりのスタジアム
ディレクターズプログラム	Platz市民演劇プロジェクト 『空き家』	9/15(日)19:00 9/16(月・祝)14:00	豊岡市民プラザ
ディレクターズプログラム	KIACレジデンス・セレクション 2023→24: コーンカーン・ルーンサーフーン 『Mali Bucha: Dance Offering』	9/13(金)18:00 9/14(土)14:00 9/15(日)14:00	城崎国際アートセンター
ディレクターズプログラム	岩下徹 (dance) × 梅津和時 (sax./cl.) 即興セッション 『みみをすます (谷川俊太郎同名詩より)』	【竹野】 9/16(月・祝)10:30 【朝来】 9/21(土)16:30 【養父】 9/23(月・祝)10:30	【竹野】 ワークス・さんとびあ (旧三原小学校) 【朝来】 あさご芸術の森美術館 【養父】 ショッピングタウンペア
ディレクターズプログラム	たじま児童劇団 『転校生』	9/6(金)19:00 9/7(土)13:00、17:00 9/8(日)11:30、15:30	江原河畔劇場
ディレクターズプログラム	青年団 『銀河鉄道の夜』 舞台手話通訳付き公演	9/14(土)11:30、18:30 9/15(日)18:30	江原河畔劇場
ディレクターズプログラム	読売テレビプロデュース 『ムーンライト・セレナーデを聴きながら』	9/14(土)13:00、16:00 9/15(日)11:30、16:00	出石永楽館
ディレクターズプログラム	堀川 炎 『野火』	9/22(日)14:00 9/23(月・祝)11:00	出石永楽館
ディレクターズプログラム	んまつーパス × Unlock Dancing Plaza 『キリギリスとアリ』	9/23(月・祝)14:00	やぶ市民交流広場
フェスティバルプロデュース	ダンスカンパニー Mi-Mi-Bi 『島々ノ舞々』 (しまじまのまいまいまい)	9/21(土)14:00 9/22(日)14:00	豊岡市民プラザ
フェスティバルプロデュース	烏丸ストロークロック×但東の人々 『但東さいさい』	9/15(日)17:00 9/16(月・祝)11:00	畑山 日出神社
フェスティバルプロデュース	to R mansion 『へんでこうじょう』	【宝塚】 9/7(土)14:00 【香美】 9/15(日)14:00	【宝塚】 宝塚ソリオホール 【香美】 香住区中央公民館
フェスティバルプロデュース	小菅紘史 × 中川裕貴 『山月記』	【宝塚】 9/7(土)19:00 【香美】 9/8(日)18:30	【宝塚】 宝塚市 武庫川河川敷 (大劇場前) 【香美】 木の殿堂芝生広場
フェスティバルプロデュース	うさぎストライブ 『ゴールデンバット』	9/21(土)19:00	あさご芸術の森美術館
フェスティバルプロデュース	城崎発演劇列車vol.4 JR西日本観光列車「うみやまむすび」×芸術文化観光専門職大学 『うみやまむすび夢十夜 こんなゆめをみた!!の旅』 リターンズ ～TAJIMA発☆奇々怪々方面、ヘンテコ!? 夢うつつ行き。ぶらりとご乗車くださいませ～	9/12(木)13:30 9/13(金)13:30 9/18(水)13:30 9/19(木)13:30 9/20(金)13:30	JR山陰本線 (城崎温泉駅、佐津駅、香住駅、余部駅)

ディレクターズプログラム Director's Program

マームとジプシー 『Chair／IL POSTO』

作・演出：藤田貴大

日時 9/13(金)19:00

9/14(土)19:00

9/15(日)11:00

会場 芸術文化観光専門職大学 静思堂シアター

作品紹介

演劇作家・藤田貴大率いる、マームとジプシーの国際共同製作作品第二弾『Chair／IL POSTO』。イタリアの文化省が支援し、イタリアの7つの劇場やフェスティバルが共同して行うクリエイティブ・プロセス「CRISOL」のプロジェクトとして、イタリアで表現活動を行うメンバーと共に藤田との新作を目指します。

団体／アーティスト紹介

マームとジプシー

藤田貴大が全作品の脚本と演出を務める演劇団体として2007年に設立。作品を象徴するシーンを幾度も繰り返す「リフレイン」の手法で注目を集め、岸田國士戯曲賞や読売演劇大賞優秀演出家賞などを授賞。2012年からは演劇作品と並行して、様々なジャンルの作家や観客から高い注目を受けながら、演劇界のみならずあらゆる分野で作品を発表している。レパートリー作品の海外巡回、国際共同製作作品の発表など、国外での活動も多数。



撮影：藤田貴大

ディレクターズプログラム Director's Program

スリーピルバーグス 第2回野外公演inスタジアム！ 『リバーサイド名球会』

作・演出：福原充則



日時 9/20(金)18:00、20:00

9/21(土)18:00、20:00

9/22(日)18:00、20:00

会場 こうのとりスタジアム

作品介绍

作品介绍

「草野球チームが集まって作った名球会に、かつて八百長で地元を追われた男が帰ってくる。しかも不思議な「なにか」を引き連れて…。」

役者5人だけで、こうのとりスタジアムの駐車場、放送室、グラウンドと場所を変えながら物語は展開。野球へのLOVEが、すべてのLOVEへとつながっていく60分の喜劇。

団体 / アーティスト紹介

スリーピルバーグス

脚本家・演出家の福原充則を中心に、積もった表現欲求を外に向けて放出せんとし立ち上がった全天候型創作ユニット。アンチ屋根の会の急先鋒。「人が生きていく上で逃れられない悲喜こもごもからの一瞬の離脱」という大上段に構えたテーマを振り下ろす素面の3人組。福原充則は『あたらしいエクスポーション』で第62回岸田國士戯曲賞を受賞。

ディレクターズプログラム Director's Program

Platz市民演劇プロジェクト 『空き家』

作・演出：内藤裕敬

日時 9/15(日)19:00

9/16(月・祝)14:00

会場 豊岡市民プラザ

作品紹介

関西演劇界を牽引する劇作家・演出家の内藤裕敬（南河内万歳一座座長）が、豊岡を題材に書き下ろした作品をプロの役者と市民が演じる市民演劇公演。

地域密着型の演劇プロジェクトです。

★出演者募集中！

Platz市民演劇プロジェクトでは市民出演者を募集しています。市民とプロが共演する地域密着型演劇プロジェクトに挑戦しませんか？今年も2020年『豊岡かよっ！』以来、4年ぶりに内藤裕敬氏が新作を書きおろし！このまちで生まれる演劇に、あなたも参加してみませんか？経験は問いません。熱意のある方、ご応募お待ちしております！！（応募締切：6月23日(日)必着）詳細：<http://platz-npo.com/wp/2024/04/18/7737>

団体 / アーティスト紹介

NPO法人プラッツ

市民参加型の舞台芸術創造を柱として活動。演劇・ダンス・ワークショップや講座など、市民が舞台芸術に触れる機会を提供し、地域の文化芸術の発展と市民文化活動を担う人材育成に努めている。2016年から関西演劇界の第一人者・内藤裕敬を作・演出に迎え、プロと市民が共演する「演劇プロジェクト」を実施。21年からはOMS戯曲賞作家ともコラボし、豊岡を題材にした地域密着型の演劇を上演している。豊岡市民プラザの指定管理者。

内藤裕敬

南河内万歳一座・座長。大阪芸術大学在学中の1980年、南河内万歳一座を『蛇姫様』（作・唐十郎）で旗揚げ。以降、全作品の作・演出を手掛ける。現代演劇の基礎を土台にした作品・演出に定評があり、劇団以外にも兵庫県立ピッコロ劇団や、母校大阪芸術大学特別公演などを演出。異ジャンルとのコラボ企画も多い。読売演劇大賞優秀演出家賞、文化庁芸術祭優秀賞、大阪文化祭賞などを受賞。2015年より大阪芸術大学舞台芸術学科教授。



『豊岡かよっ！』撮影：igaki photo studio

ディレクターズプログラム Director's Program

KIACレジデンス・セレクション2023→24：
コーンカーン・ルーンサワーン
『Mali Bucha: Dance Offering』

コンセプト・振付・出演：コーンカーン・
ルーンサワーン



photo by Bernie NG

日時 9/13(金)18:00

9/14(土)14:00

9/15(日)14:00

会場 城崎国際アートセンター

作品紹介

タイの新世代の振付家コーンカーン・ルーンサワーンと一緒に、ダンス、拡張現実(AR)、仮想現実(VR)の融けあう観客参加型のパフォーマンスで、現実世界と仮想世界を横断しよう。

『Mali Bucha: Dance Offering』は400年の歴史を持つタイの儀式「Rum-Kea-Bon*」に着想を得ている。この儀式は、ダンスは人間が神様などの高次の存在と交渉するための道具であるとされ、魅力的なダンサーが人間から霊的領域へのメッセンジャーとして雇われ、人々の願いをかなえるための役割を担う。お寺や街中の祠などで行われているこの風習は、タイの社会的・文化的慣習とともに、常に進化、変容してきた。

ルーンサワーンは、この民衆のためのダンスからインスピレーションを得て、私たち観客のいる「物質的な領域」と「デジタル空間に生み出される霊場(=Digital Shrine)」を繋ぐ振付的な媒介(巫女的存在)として、体感・参加型の儀式を現代に再提示する。作品を貫くのは、経済と環境、ビジュアルとサウンド、古いものと新しいもの、俗なるものと聖なるもの、といった二重性を巡る信仰体系である。

*「Rum-Kea-Bon(ラム・ゲー・ボン)」=日本語で「お礼参りの踊り」を意味する

団体 / アーティスト紹介

城崎国際アートセンター (KIAC)

豊岡市が運営する、舞台芸術を中心とした芸術活動のための滞在制作(アーティスト・イン・レジデンス)を行うアートセンター。2014年に開館、24年度は開館10周年にあたる。「KIACレジデンス・セレクション」は、年間を通して、アーティストの研究や作品創作、地域交流を支援しているKIACが、これまでに滞在制作を行ったアーティストの作品発表の機会を創出し、広くその成果を共有するプログラム。

コーンカーン・ルーンサワーン (Kornkarn Rungsawang)

1988年、タイ・バンコク出身。伝統と現代の橋渡しを試みる新世代のダンスアーティスト。王宮内で踊られる「古典舞踊」から庶民的な「民族舞踊」まで、タイの様々な伝統舞踊の訓練を受け、伝統的な運動システムに関する幅広い知識を、現代の身体や都市のリズムに応用。現在の社会、文化、政治環境を反映した新しいダンス表現を生み出す。2007年から振付家ピチェ・クランチェンに師事。ピチェ・クランチェン・ダンスカンパニーのアーティストとして活動している。

ディレクターズプログラム Director's Program

岩下徹 (dance) × 梅津和時
(sax./cl.) 即興セッション
『みみをすます (谷川俊太郎同名詩より)』

出演：岩下徹、梅津和時



Photo by bozzo

日時 [竹野] 9/16(月・祝)10:30

[朝来] 9/21(土)16:30

[養父] 9/23(月・祝)10:30

会場 [竹野] ワークス・さんとぴあ (旧三原小学校)

[朝来] あさご芸術の森美術館

[養父] ショッピングタウンペア

作品介绍

「こんにちは たにかわしゅんたろうです いわたさんへ 「みみをすます」 ごじゆうにおつかいください」

朗読するような、つやのある明るいトーンのメッセージを留守電に頂いた1989年以来、岩下徹は、谷川俊太郎さんの詩のタイトルを借りたこの試み、野外や劇場ではない空間での無音の即興ソロダンスを続けている。豊岡演劇祭ではこの特別版として、ミュージシャンの梅津和時を共演に迎える。舞台も客席も設営しない普段通りのその場所で、観客は好きなのところに立ったり、座ったり、移動したりしながら、即興の場に参加することになる。

ダンスと音の間には何の取り決めもない。場所そのもの、聞こえてくる音、通行人や犬にカラスといった、その場に在る様々なものとも関わりながら、ダンスと音と観客によって紡がれる時間。私たちはそこで一体、何に「みみをすます」のだろうか。

なお、豊岡演劇祭では、2022年に出石の永楽館、日高の気多神社、但東の大生部兵主神社、竹野の但馬漁協竹野支所、養父のYBファブ芝生広場の5か所で上演。23年には香住の東海上屋2号棟、豊岡の玄武洞公園の2か所で上演してきた。今年は、また新たに竹野、朝来、養父の3か所が会場となる。

団体 / アーティスト紹介

岩下徹 × 梅津和時

国際的な舞踏集団「山海塾」の活動(~2023)のかたわら、交感としての即興ダンスや、精神科病棟でのダンスセラピー、障害の有無やダンス経験不問のワークショップなどのソロ活動で知られる岩下徹と、生活向上委員会大管弦楽団や、RCサクセッション・忌野清志郎のサポートで知られ、結成20周年となるリーダーバンド「KIKI BAND」では、欧米やロシアなど海外ツアーも旺盛に行っている梅津和時による即興セッション。

ディレクターズプログラム Director's Program

たじま児童劇団 『転校生』

作・演出：平田オリザ

日時 9/6(金)19:00
9/7(土)13:00、17:00
9/8(日)11:30、15:30

会場 江原河畔劇場



©井垣真紀

作品紹介

ある朝、目覚めると少女は一人の転校生になっていた…。
フランツ・カフカ『変身』をモチーフにした平田オリザの代表作を、但馬の中高生が熱演。

団体 / アーティスト紹介

たじま児童劇団

2021年に発足。小学4年生から高校3年生までの中高生が江原河畔劇場（豊岡市日高町）を拠点に、小学生の部と中高生の部に分かれて活動している。平田オリザと劇団青年団の劇団員が講師を務め、演劇ワークショップや本格的な創作・上演を行う。

ディレクターズプログラム Director's Program

青年団

『銀河鉄道の夜』 舞台手話通訳付き 公演

原作：宮沢賢治 作・演出：平田オリザ
舞台手話通訳協力：NPO法人シアター・アクセシ
ビリティ・ネットワーク (TA-net)



2024年 こまばアゴラ劇場

日時 9/14(土)11:30、18:30
9/15(日)18:30

会場 江原河畔劇場

作品紹介

「銀河ステーション…」
星祭りの夜、1人寂しく夜空を見上げるジョバンニの耳に突如響く車掌の声。
親友カンパネルラとともに“本当の幸せ”を求めて様々な星座を旅し、2人の行き着く先は…。

宮沢賢治の名作童話を、「友人の死を受け入れることで成長していく少年の物語」というシンプルな構成にして鮮やかに舞台化。2011年にフランスの子どもたちのために仏語版がつくられ、その後、日本語版を制作。小説『幕が上がる』の背景ともなった作品です。

国内外でたくさんの方の旅をしてきた、大人も子どもも楽しめる作品を今回、初めて舞台手話通訳付きの公演として発表します。

※舞台手話通訳について
舞台作品の進行に合わせ、セリフや音の情景などを手話で伝える同時通訳のこと。通常の手話通訳とは異なり、演出家および手話監修のもと、通訳者も1人の出演者として舞台上に立ち、セリフや効果音、音楽などを観客に伝えます。

団体 / アーティスト紹介

青年団

劇作家・演出家の平田オリザを中心に1982年結成。以来、1980年代からこまばアゴラ劇場を拠点とし、平田オリザが提唱した「現代口語演劇理論」を通じて、新しい演劇様式を追求している。この実践的で新しい演劇理論は、1990年代以降の演劇界に強い影響を与え続けており、2020年からは江原河畔劇場（兵庫県豊岡市）を新たな拠点として、全国各地で多彩な公演活動を展開している。

ディレクターズプログラム Director's Program

読売テレビプロデュース

『ムーンライト・セレナーデを聴きながら』

作・演出：岡本浩一

共同演出：平田オリザ

日時 9/14(土) 13:00、16:00

9/15(日) 11:30、16:00

会場 出石永楽館



作品介绍

出石出身の不屈の政治家・斎藤隆夫が生きた昭和15年を舞台に、現代の高校生がタイムリープし、ジャズ音楽と出会う青春音楽活劇。読売テレビがプロデュースする新作リーディング劇として上演する。

受験勉強に悩みを抱える高校生の柁紀は、ある日、ジャズのスタンダード曲「ムーンライト・セレナーデ」を聴いた直後に睡魔に襲われ、気が付くと昭和15年(1940年)のジャズ喫茶にいた…。84年前の戦前日本で、同じ年の愛子と出会い、愛子の父・斎藤隆夫のためにジャズの演奏会を開くが、やがて歴史の大きな渦に巻き込まれていく…!

作・演出は、読売テレビの岡本浩一、プロデュースは同局の箕田英二が担当。共同演出として平田オリザが参加。主演は『仮面ライダーガッチャード』（テレビ朝日）に出演の藤林泰也、ヒロインは『超無敵クラス』（日本テレビ）出演の崎本紗衣。喫茶店のマスター役として読売テレビアナウンサーの立田恭三、そして斎藤隆夫役は『笑うマトリョーシカ』（TBS）に出演の丸山智己が演じる。劇中のサックスの生演奏は、海野あゆみがライブで披露する。

団体 / アーティスト紹介

読売テレビプロデュース

様々な映像コンテンツを創り出す読売テレビが、今回、豊岡演劇祭のために書き下ろした新作のリーディング舞台をプロデュース。作・演出は同局でドラマ制作に携わる岡本浩一（豊岡市出石町出身）が担当。主な代表作は、ドラマ『日本のシンデラー 杉原千畝物語・六千人の命のビザ』『夢をかなえるゾウ』『CODE-願いの代償-』ほか。公演のプロデュース・美術デザインは同局の箕田英二が担当する。

ディレクターズプログラム Director's Program

堀川 炎 『野火』

原作：大岡昇平

演出・テキストレジ：堀川 炎

日時 9/22(日)14:00

9/23(月・祝)11:00

会場 出石永楽館



豊岡演劇祭2023 堀川 炎 『窓の外の結婚式』 ©3waymoon

作品介绍

舞台は、日本の劣勢が決定的となった第2次大戦末期、フィリピン・レイテ島…。肺病を患った日本兵は、わずか数本の芋を渡されて中隊を追い出され、さらに野戦病院からは食糧不足のために入院を拒否される。飢えと敵におびえながら、野火の煙が立ち上る原野をさまよって歩く日本兵は、律しがたい生への執着と絶対的な孤独の中で、かつて棄てた信仰に目覚めはじめる。ところが目の当たりにする現実、ことごとく彼の望みを絶ち切り、精神は極限状態となる。やがて共存している顔見知りの兵隊たちと再会するが、その事実は日本兵にとって受け入れがたいものであった。

当時を振り返り、真実をひとつひとつ思い出すとき、次第に彼は狂人と化していく。平凡な一人の男の異常な戦争体験をもとに、殺人、人肉嗜食、信仰、そして戦争とは何かを問いかけ、人間の思考と狂気をえがく大岡昇平の物語。

戦争文学の代表的名作である本作の演出を堀川炎、主演は、多数の舞台に出演し圧倒的な存在感で魅せる永井秀樹。堀川炎、永井秀樹が創りあげる、唯一無二の一人芝居。

団体 / アーティスト紹介

堀川 炎

脚本家・演出家・振付家。2008年に立ち上げた世田谷シルクを主宰。「くすっと笑えるアート」と称し、日常生活に入り込む奇妙な状況を、時にコミカルに描く。近年はビジュアルアート（視覚芸術）に視野を広げ、会話にこだわらない新しい表現を目指している。

主な受賞歴は、利賀演劇人コンクール 奨励賞・観客賞（『冒した者』）、世田谷区芸術アワード“飛翔”舞台芸術部門賞（『渡り鳥の信号待ち』）

ディレクターズプログラム Director's Program

んまつーポス × Unlock Dancing Plaza 『キリギリスとアリ』

作・振付・出演：んまつーポス × Unlock Dancing Plaza
構想・演出：高橋るみ子（宮崎大学客員教授／舞踊教育）



©Chau Elsie

日時 9/23(月・祝)14:00

会場 やぶ市民交流広場

作品介绍

この作品のキッカケは、バッタ研究者によるベストセラー『バッタを倒しにアフリカへ』。バッタが気になり始めた「んまつーポス」の3人が興味をもって調べたところ、日本には445種ものバッタの仲間がいて、イソップ童話「アリとキリギリス」のキリギリスもその1種だった。

将来に備えることの大切さを説く「アリとキリギリス」において、キリギリスはアリから「夏には歌っていたんだから、冬には踊ったらどうだい？」と言われる存在。けど、「んまつーポス」は逆さから考えることにこだわっている団体。「アリとキリギリス」ではなく「キリギリスとアリ」として、キリギリスのように人生を心豊かに楽しみながら過ごす生き方を再発見したい！とこの作品をつくることに。

「んまつーポス」（反対から読めばスポーツマン！）が、香港のダンスカンパニー「Unlock Dancing Plaza」と共創した、大人も子どもも楽しめるダンス作品。

団体 / アーティスト紹介

んまつーポス（豊福彬文・みのわそうへい・児玉孝文）

2006年結成。「逆さから物事を考えることで新たな価値を創造する」ダンスカンパニー。シビウ国際演劇祭をはじめ、15カ国40都市で作品を発表。香港のダンス界を牽引する「Unlock Dancing Plaza」と2016年より共創中。横浜ダンスコレクションファイナリスト（2008・2011・2012）。国内外で実践的研究を活かしたワークショップや企業研修を展開。2019年3月、宮崎市に「国際こども・せいねん劇場みやざき」をオープン。

フェスティバルプロデュース Festival Produce

ダンスカンパニー Mi-Mi-Bi 『島ノ舞>>』（しまじまのま いまいまい）

演出：内田結花、森田かずよ

日時 9/21(土)14:00
9/22(日)14:00

会場 豊岡市民プラザ

作品紹介

社会や暮らしのなかに障害を覚える身体のパフォーマーを含むコンテンポラリーダンスカンパニー「Mi-Mi-Bi（みみび）」の世界初演となる新作公演。

豊岡演劇祭2022フリンジセレクションで発表され、来場した観客だけでなく様々なメディアを通して大きな注目を浴び、カンパニーとしての鮮烈なデビューを飾った前作『未だ見たことのない美しさ』のテーマは「旅」だった。そして今作は「島」。移動する側から特定の場所で生活する側に視点を変え、自然社会での営みや他者との出会いに伴う厳しさや葛藤、それらに向き合うための逞しさと知恵とユーモアのあるふるまい、そしてそこに通底する揺るぎない想いなどから着想を得たダンスを、Mi-Mi-Biに起きた出来事も反映させながら展開する。共同演出を担う森田かずよと内田結花を中心とするMi-Mi-Biのメンバーに加え、今回は音楽に嶺川貴子、ドラマトゥルクに筒井潤、衣装に福岡まな実を迎えた。「未だ見たことのない美しさ」の追求を継続しつつより重層的で不可思議となった示唆に富む作品である。

団体 / アーティスト紹介

ダンスカンパニー Mi-Mi-Bi

2022年結成。社会や暮らしのなかに障害を覚える身体のパフォーマーを含むダンスカンパニー。それぞれに異なる身体性や感覚、世界の捉え方を観客と共有できる方法を模索し、作品創作を行っている。ゲーテ・インスティテュート×Festival Theaterformenの共同プロジェクト「A Gathering in a better world」にてプログラムディレクターを務めるなど多様な活動を展開。



写真：Junpei Iwamoto

フェスティバルプロデュース Festival Produce

烏丸ストロークロック × 但東の 人々 『但東さいさい』

構成・テキスト・演出：柳沼昭徳

日時 9/15(日)17:00

9/16(月・祝)11:00

会場 畑山 日出神社



photo by bozzo

作品介绍

豊岡市の東端に位置して、三方を京都に囲まれている但東。山あい美しい田畑が広がり、小さな集落が点在している地域です。そんな但東に点在する神社の境内には「農村歌舞伎舞台」が数多く現存。江戸時代から歌舞伎の旅公演や地域住民による地芝居でにぎわった名残りだとされる、木造の舞台機構です。また、古くから地域で言い伝えられてきた民話が多く、人々の精神と教養に影響を与えてきたことも但東地域の特徴です。

こうした背景に裏打ちされた『但東さいさい』は、人々の営みとともにある舞台作品を目指して、但東の子どもたちや多くの地域住民とともに但東の民話をもとにしたオリジナル神楽を創作。2022年から但東の農村歌舞伎舞台を巡って上演を続けています。

境内に立ち並ぶ露店、拍手喝采に湧くお祭りさながらの神社…美しい山々と田園風景に抱かれた『但東さいさい』を体験ください。

芸能や民話のような文化が、土地の歴史を知る地域の遺産であると同時に、厳しい生活環境のなかでも人々が豊かに生きるための大事な役割を担ってきたことをあらためて再確認することにもなるでしょう。

団体 / アーティスト紹介

烏丸ストロークロック

1999年設立。京都を拠点に国内各地で演劇活動を行う。作品のモチーフとなる地域での取材やフィールドワークをもとに短編作品を重ね、数年かけて長編作品へと昇華させていく創作スタイルが評価されている。2018年、20年と東京芸術劇場にて『まほろばの景』シリーズを上演。代表の柳沼昭徳は第60回岸田國士戯曲賞ノミネート、平成28年度京都市芸術新人賞受賞。2021年は新国立劇場「こつこつプロジェクト」第2期の演出家に選出。

フェスティバルプロデュース Festival Produce

to R mansion

『へんてこうじょう』

演出：上ノ空はなび

日時

[宝塚] 9/7(土)14:00

[香美] 9/15(日)14:00

会場

[宝塚] 宝塚ソリオホール

[香美] 香住区中央公民館

作品介绍

子どもも、大人も、みんな集まれ～！
世界をよ～く見てみたら、へんてこな物やへんてこな人であふれてる。
それっていったいなあに？ 答えは君の中にある。
「へんてこ」はスペシャルな個性、誰もが持つてる宝物。
オモシロへんてこをいっぱい見つけて集めて楽しもう!!

「へんてこうじょう」では、工場長と愉快的仲間たちが夢とロマンを組み合わせ、いろんなへんてこな物をたくさん作っています。
ステージには、色々な絵が描かれた鮮やかな箱がたくさん。箱を組み合わせたら何に見える？おっきな声で笑って驚けば、ドキドキワクワク心と体が踊ります。

世界中で活躍するパフォーマンスカンパニー・to R mansion（トゥー アール マンション）が、2020年の初演以来、全国15都市で上演を続ける大ヒットファミリーシアター。
みんなでへんてこ体操を踊ったり、光を使って地図を浮かびあがらせたり、客席とコミュニケーションをとりながら展開していく、五感と想像力と身体を刺激する観客参加型のステージアートです。

団体 / アーティスト紹介

to R mansion

18カ国85都市の劇場、演劇祭、ストリートフェスティバルから招聘され、世界中で大人気のパフォーマンスカンパニー。フランスの有力紙「リベラシオン」紙でも紹介されるなど、海外でも高く評価され、ファッションデザイナーのジャン＝ポール・ゴルチエも大ファンである。

世田谷区芸術アワード“飛翔”舞台芸術部門を受賞するなど受賞歴多数。「東京2020 オリンピック」の開会式セレモニーに出演。



金子愛帆

フェスティバルプロデュース Festival Produce

小菅紘史 × 中川裕貴 『山月記』

出演：小菅紘史
演奏：中川裕貴
原作：中島敦『山月記』



photo by bozzo

日時 [宝塚] 9/7(土)19:00
[香美] 9/8(日)18:30

会場 [宝塚] 武庫川河川敷（大劇場前）
[香美] 木の殿堂芝生広場

作品紹介

高校教科書にも載っている中島敦の『山月記』を一人芝居として舞台化。音楽家・中川裕貴のチェロ演奏とともに、虎になってしまった男の孤独と郷愁を描く。

「人間を人間たらしめているのものとはいったい何なのでしょう。自分が獣ではないという根拠はあるのでしょうか。そういうことを考えるとき、『山月記』の物語が示唆してくれる問いや発見は、現代においても、先行きを少しでも垣間見るための、私たちの現在を照らすための手がかりとしての明かりになるのではないかと思います」と小菅紘史。

これまでさまざまな場所、地域での上演を重ねてきたこの『山月記』を、豊岡演劇祭では、香美町と宝塚市の2か所で巡演する。

団体 / アーティスト紹介

小菅紘史 × 中川裕貴

俳優・小菅紘史と音楽家・チェロ演奏の中川裕貴によるユニット。2020年に小菅のレパートリーであった『山月記』を中川のチェロ演奏付きで上演したことがきっかけで二人での活動がスタート。以降は同作品の上演を中心としながら、詩人・小笠原鳥類の詩を舞台化した作品『拝景、鳥類さん』の上演も行う。現在は江戸川乱歩『踊る一寸法師』の舞台化に向けて稽古に励んでいる。

フェスティバルプロデュース Festival Produce

うさぎストライブ 『ゴールデンバット』

作・演出：大池容子

日時 9/21(土)19:00

会場 あさご芸術の森美術館

作品紹介

何度も芸名とキャラクターを変えながら、東京で地下アイドルとして活動していた梅原純子。彼女がたどり着いた昭和歌謡曲中心のライブスタイルは、池袋の路上で誰にも相手にされず歌い続けていた老女・海原瑛子を真似たものだった。純子は、五十年前に宮城から上京した瑛子の人生を紐解いていく。

舞台美術はビールケースとギターのみ。これまでに東京、宮城、三重など、屋内・屋外を問わず全国で上演を行い、豊岡演劇祭では2019年に城崎国際アートセンタースタジオで、20年に江原駅前イベント広場で上演された、菊池佳南の一人芝居。

団体 / アーティスト紹介

うさぎストライブ

2010年結成。劇作家・演出家の大池容子の演劇を上演する。「どうせ死ぬのに」をテーマに、演劇の嘘を使って死と日常を地続きに描く作風が特徴。

2019年3月、二人の父親と一人の娘による“ありふれた”家族の姿を描いた『バージン・ブルース』で、平成30年度 希望の大地の戯曲賞「北海道戯曲賞」大賞を受賞。



フェスティバルプロデュース Festival Produce

城崎発演劇列車vol.4 JR西日本観光列車
「うみやまむすび」 × 芸術文化観光専門職大学

『うみやまむすび夢十夜 こんなゆ
めをみた!!の旅』リターンズ

～TAJIMA発☆奇々怪々方面、ヘンテコ!?夢うつ
つ行き。ぶらりとご乗車くださいませ～

作：田上豊、永井楓華 総合演出：田上 豊



日時 9/12(木)13:30 9/13(金)13:30
9/18(水)13:30 9/19(木)13:30
9/20(金)13:30

会場 JR山陰本線
(城崎温泉駅、佐津駅、香住駅、餘部駅)

作品介绍

城崎温泉駅発のJR西日本観光列車「うみやまむすび」に乗車して、ホームや車内で観劇体験ができる演劇列車の第4弾。昨年的好评を受けて再演となる今回は、上演時間を全体で50分拡大し、新演出や観客とのさらなるインタラクティブな要素を加えて、ますますパワーアップ。モチーフは引き続き、夏目漱石の短編集『夢十夜』。さらに但馬の民話や伝説を取り入れて、奇々怪々、幻想的な夢の世界を繰り広げる。

「こんな夢を見た…」。城崎温泉駅に舞い降りれば、そこはもう夢の入り口。歌あり、謎あり、ダンスあり。晴れときどき夢。但馬の天気は気分屋さん。そんな秋の豊岡で不思議な列車に揺られて各駅停車の幻想世界を味わってみませんか。

JR西日本観光列車「うみやまむすび」 × 芸術文化観光専門職大学による、イマーシブシアター。寂しかったらぶらりとおいで、決してただでは帰しません♡

団体 / アーティスト紹介

田上豊

劇作家・演出家。田上パル主宰。1983年生まれ。移りゆく時代の中で揺らぐ人間やその集団を描き出すのを得意とする。劇団外でも公共劇場プロデュース公演やダンスカンパニーとの合作、国際共同事業など様々な活動を展開。近年は全国各地の小学生から高校生までを対象にした作品創作を精力的に行い、地域性を生かした演出法に定評がある。奈良市アートプロジェクト舞台芸術プログラムディレクター。芸術文化観光専門職大学助教。

フェスティバルナイトマーケット Festival Night Market

週末の夕方には豊岡会場、江原会場の2か所で、但馬の魅力あふれる食や地産品が出店するナイトマーケットを開催。大道芸などのフリンジストリートも上演します。会場で過ごしていると、ついさっきまで舞台上にいた出演者とばったり出会うこともあるかも!? 1日の体験を振り返りながらゆっくりとお過ごしください。

6月14日より店舗募集を開始

[江原] 9/14(土)、9/15(日)
17:00~22:00
江原駅前イベント広場

[豊岡] 9/20(金)、9/21(土)、9/22(日)
17:00~22:00
豊岡市役所本庁舎前市民広場



豊岡演劇祭2023 フェスティバルナイトマーケット ©トモカネアヤカ



豊岡演劇祭2023 フェスティバルナイトマーケット ©トモカネアヤカ

ミーティングスポット Meeting Spot

交流スペース「ミーティングスポット」を開設。休憩をしたり、情報交換をしたり。オリジナルグッズ販売も行う。昨年、豊岡と江原で2箇所で開催。のべ1800名以上の来場者が訪れた。

オフィシャルミーティングスポット

まちの基地アンテナ

住所：豊岡市中央町1-4 ハラマキビル 1F



©トモカネアヤカ



©トモカネアヤカ

FRINGEプログラム Fringe Program

FRINGE セレクション

- **Art Translators Collective** 『アート・トランスレーション・パーティー』
- **Bambino!** 0歳からのパフォーミングアート 『WONDER』
- **JACOPO TEALDI #QUELLODELLEMANI**, 『HUMANITY - 人類』
- 安住の地 『かいころく-工女編-』
- エンニューイ 『きく 豊岡演劇祭ver.』
- 架空カンパニーあしもと 『くらし』
- 笠井瑞丈×上村なおか 『浸色』
- 劇団不労社 『悪態Q』
- サンロク 『三本足で旅に往く』
- シェルボディ／吉田萌 『ヴァカンス』 豊岡公演
- ジェームズ・ハーヴェイ・エストラダ／額田大志 『ケアのためのセレモニー』
- 鈴木泰人 『日常感アンプ』
- 世界劇団 『the replication-toyooka edition-』
- そこに居るために 『土地も家の中にいる』
- 原田大二郎 × 佐藤正治 『朗読とパーカッションの新世界～ 城の崎の先～』
- 藤中康輝 『低気圧の日』
- 松原俊太郎 / 小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク 『ダンスダンスレボリューションズ』
- 山本 裕 『妖怪図鑑古刹探訪』
- カン・マミ 『The Second Body』
- 竹内 梓 『新作FURERUの為のリサーチ』
- 舘そらみ 『舘そらみが脚本家講座と親の人生を親子で迎えるワークショップをやります。』
- 遊学生 『まつり』

フリンジプログラム Fringe Program

フリンジ ショーケース

- 宮悠介『架空生物の鳴き真似 (Alien Blues)』
- バブシュカブシュカ『カムパニー』
- チーム稽古会『夢だわ』
- キルハトッテ『のび〜る旅館』
- がらんどろ『終の栖』
- 譜面絵画『ホームライナー新津々浦1号』

フリンジ ストリート

- AKARI
- ArtistaKAZU
- E.M.F
- LEO
- Unfum
- ZEN
- アートパフォーマー☆ファイター☆
- 安慶
- アメノシズ
- 石水タキキ
- 奇妙なオレンジ
- すり〜び^っす
- 太平洋
- ダンスカンパニーヒボッコ
- てまわしオルガンKINO
- ハタダ
- 北陸即興「NEO」
- 星丸
- マジシャン輝(Teru)
- 目黒宏次郎
- 吉沢かお
- ロクディムりょーちん
- 渡辺あきら

FRINGE PROGRAM Fringe Program

参加団体 / アーティストからのコメント

セレクション

エンニューイ主宰 長谷川優貴

昨年に続き豊岡演劇祭のFRINGEプログラムに参加させて頂くことになりました。今年は「ざく」という聴覚からの体験を実感いただけるような作品をパフォーマンスします。「人」と「場所」を大切に偶発的に起きることも作品に取り込み「思い出」で昇華できるのが豊岡演劇祭の醍醐味だと思います。演劇を豊岡でやるのではなく、豊岡という場所に演劇という枠組みがふらっとお邪魔する感じです。いつもの景色に馴染めたら嬉しいです。

ジェームズ・ハーヴェイ・エストラダ / 額田大志

I am excited for the Toyooka Fringe! This is my second festival participation in Japan, and I am excited to see how Toyooka will welcome me. Since 2019, I have been part of the Tokyo Festival, where I began as a Farm Lab participant and was then fortunate enough to be chosen to create a work during the height of the pandemic for the Tokyo Farm Lab Exhibition in 2020. The piece, titled 'Fure Fure!! Ostrich Hayupang Die-Bow-Ken!' was my collaboration and co-direction with the wonderful artists Aokid and Masashi Nukata. The performance work was restaged and became part of the Tokyo Festival lineup in 2021. I also served as the facilitator for the Asian Performing Arts Camp with Keiko Yamaguchi for two years, 2022 and 2023. It has been almost a five-year journey thriving as an artist in the Tokyo Festival, and now I am happy to explore the Toyooka Theater Festival.

I have been following this festival for years, and I am curious and at the same time eager to learn from it. I have been working as a festival director and curator in my hometown of Binangonan, Rizal, Philippines, for the Parika Arts Festival. It is a small festival that aims to explore what the local sites can offer. I believe my local festival shares a similar trajectory with the Toyooka Theater Festival, and so I am excited to explore the artists, culture, and arts of this particular locality.

For Toyooka Festival Fringe Selection, I will be working closely with my dear friend Masashi Nukata, and this is going to be our reunion since we worked together for the Tokyo Festival. I must say, Masashi and I have developed a certain bond and trust in working together. The work we are doing is an exploration of creating rituals of care from my Filipino culture and spirituality, combined with Masashi's musicality. We will develop this work as we understand the spaces in Toyooka and other parts of the city, and I am excited to see how the work will take shape together with the audience and the special locations we have chosen for the performance.

As an artist, I have been exploring ceremony and ritual-making, and I believe creating this kind of performance helps us understand or become aware of ourselves and other people. It also involves becoming sensitive to our built environment and eventually listening to the nature around us through our bodies. I have been delving into the notions of care and its importance in our present world. In a world surrounded by wars in every part of the globe, I want to start a ripple of care through this performance. I believe that caring more for other human beings and for our nature is the way to envision a brighter future together.

I think the personal is communal, and coming from a country that was colonized for years, I need to continuously decolonize myself. As I decolonize myself through care, I want to share with the world the idea of 'Pagkalinga,' meaning 'to take care,' and 'Pakikipagkawa,' meaning fellowship or togetherness.

Come and meet me, I am James harvey Estrada an artist from the Philippines with so much care to give and together with Masashi Nukata's riveting music that will vibrate energy in this performance of presence, togetherness, and care. We would be happy to dream of a better future with you and would be delighted to get to know and meet you in the trans-field/trans-energy of care, love and compelling encounters that we will create together.

館そらみ

館そらみです。今年は父と一緒に参加！色々やりま
す！

脚本家講座は3年連続開催。「脚本作るの楽しい」
の声を毎年いただいています。今年も、経験一切不
問でお待ちしております。

そして！私は75歳の父親とタッグを組んで、父親
の終活を進めております。その出発点として2人で
作った「父の人生の物語」の演劇の上映会（石川県
の演劇祭で観客投票第一位！）と、「親子で向き合
うためのワークショップ」を行います。かけがえの
無い時間を、共に過ごせたら嬉しいです。

FRINGEプログラム Fringe Program

参加団体 / アーティストからのコメント

ショーケース

宮 悠介

今年も豊岡演劇祭に参加させていただけることを本当に嬉しく思います。初めて参加した昨年には多くの出会いがありました。豊かで雄大な自然、歴史ある街並み、そこに住む心暖かい人々、そして世界から集った刺激的で魅力的な作品たち。その景色の一つになれるよう全力を尽くします。今年も出会いに行きます。

ストリート

吉沢かお

2年前豊岡演劇祭に初参加させていただき、情緒ある街並みと温かい人、そして演劇祭と言う熱を持った空気の中でのパフォーマンスは忘れ難い貴重な思い出となりました。あの時の風景を思い出しながら、今年はおひるの人形のお散歩を軸に、街の皆さんとどの様に楽しい時間を過ごそうかワクワクしながら準備をしております。もしお会い出来たら是非一緒に遊んでください。

キルハトツテ

2022年の豊岡演劇祭を訪れた時、とても素敵な時間を過ごしたので、東京へ帰りたくないあまり、ホテルのチェックアウトの際に「あ～、フロントまで向かうこの廊下がのびないかなあ…」と感じたことを覚えています。

だけど、あの時、廊下が伸びなかったおかげで、今も素敵な思い出なのかもしれないとも思います。旅にはおわりがつきものだから。

私たちがFRINGEショーケースで上演する『のび～る旅館』はそんなふうな作品です。

等身大の旅行者のまま、ならではの、演劇をつくります。

演劇祭を通じて、たくさんの方々とお会いできることが楽しみです。

どうぞ、よろしくお願い致します。

ハタダ

大道芸で豊岡の街に華を添えさせていただきます。大道芸でしか表現できない、偶然居合わせたお客様との笑いあるコミュニケーション、迫力ある技術の数々、この時この瞬間でしか味わえないようなショーを皆様の間近でお届けします。

私はワイングラス、シャンパンボトル、食器など、身の回りの物でドキドキハラハラなバランス芸を披露します。ジャグリング西日本チャンピオンという実力で裏打ちされたパフォーマンスをお楽しみください！

サポートスタッフ Support Staff

こども、舞台。人と地域をつなぐサポートを

アーティスト、観客、地域を繋ぐサポートを行うサポートスタッフを募集します。

演劇祭にお越しいただく人に作品やイベントを楽しんでもらうことはもちろん、まちのことを紹介して観光も楽しんでいただくなど、より充実した体験や思い出の機会を創ります。



募集受付中 ~7/19

- 説明会
6月21日(金)
フェスティバルセンター (オンライン配信あり)
- オリエンテーション
8月17日(土)
- 活動期間
9月6日(金)~23日(月・祝)

開催概要

名称：豊岡演劇祭2024

会期：2024年9月6日(金)～23日(月・祝)

開催エリア：豊岡市、養父市、香美町、朝来市、宝塚市

プログラム構成：公式プログラム（ディレクターズプログラム、フェスティバルプロデュース）
フリンジプログラム（セレクション、ショーケース、ストリート）
関連プログラム
寄りんせえプログラム

プログラム数：公式プログラム 16団体／17プログラム
フリンジプログラム 51団体／54プログラム
合計 67団体／71プログラム（6月14日現在）

主催：豊岡演劇祭実行委員会

(特非)コミュニティアートセンタープラッツ/(一社)豊岡観光イノベーション/豊岡ツーリズム協議会/
豊岡商工会議所/豊岡市商工会/兵庫県但馬県民局/豊岡市/養父市

香美町公演共催：香美町、朝来市公演共催：朝来市、宝塚市公演共催：宝塚市

令和6年度文化庁文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業



パートナー：



JAPAN AIRLINES



(6月14日現在)